



テーマ「食料と飼料の自給」

輸入に依存する食料と飼料の実態を知り、自給について考え解決策を探ります。
今年度はオンラインのほか、会場にご参加いただけます。ご参加をお待ちしています。

【録画配信】第1回講座 7月6日(日) 14:00~16:30

「食料・農業・農村」の危機的状況と米騒動 全国有機農業推進協議会 理事長 下山久信さん

第2回講座 11月8日(土) 14:00~16:30

「食と農」～みんなでつなぐ～

千葉商科大学人間社会学部 准教授

小口広太さん



14:00 講演「食と農」～みんなでつなぐ～

15:30 ミニパネルディスカッション

生産者と消費者を分けない。自分たちで耕すしくみをつくる。援農ボランティア。
「産直」を社会のシステムにするには。農村の都市化、都市の都市化の課題。
買うだけではなくどうすればいいかを考える機会とする。

1983年、長野県塩尻市生まれ。日本農業経営大学校を経て2021年より現職。専門は食と農の社会学、地域社会学。食と農をつなぐ仕組みづくりに着目し、有機農業や都市農業の現場でフィールドワークに取り組んでいる。主な著書に『日本の食と農の未来：「持続可能な食卓」を考える』（光文社）、『有機農業：これまで・これから』（創森社）、『農の力で都市は変えられるか』（コモンズ）などがある。

第3回シンポジウム

2026年1月31日(土) 14:00~16:30

「国産なたねによる食料と飼料の自給と資源循環型社会」（仮題）

京都橘大学経済学部 准教授

平賀緑さん・米澤製油株式会社他



国際基督教大学卒業後、香港中文大学へ留学。新聞社、金融機関、有機農業関連企業などに勤めながら、食・環境・開発問題に取り組む市民活動を企画運営した。ロンドン市立大学修士（食料栄養政策）、京都大学博士（経済学）。食と資本主義の歴史、植物油を中心とした食の政治経済を研究している。著書に『食べものから学ぶ現代社会』（岩波ジュニア新書、2024年）『食べものから学ぶ世界史』（岩波ジュニア新書、2021年）、『植物油の政治経済学』（昭和堂、2019年）。

●会場：生活クラブ連合会大会
議室（全講座）
東京都新宿区新宿 6丁目 24-20
KDX 新宿 6丁目ビル 7階



●詳細はこちらから



【お申込み】 たねと食とひと@フォーラム事務局
info@nongmseed.jp

- 件名に「2025 年度講座参加希望」と明記
- メール本文に ①参加者氏名 ②会場参加/オンライン参加の別 ③視聴 URL 送信のための Email アドレス ④会場参加の有無 ⑤連絡先電話番号

【参加費】ライブ視聴、資料、録画配信含む

- 一般：3,000 円 ●学生：無料
- 当会会員（団体・法人は1名のみ）：無料 ※講座申込み時に会員登録された場合も無料になります。
- 【振込先】振込名は参加者名でお願いします。
ゆうちょ銀行 店名 ○○ハ（ゼロゼロハチ） 店番 008 普通預金 記号番号 10020 口座番号 4832958
口座名義 タネトシヨクトヒトアットフォーラム